ハンセン病市民学会

第8回 総会・交流集会 in 青森・宮城

●2012年5月12日（土）青森市民ホール・青森グランドホテル
●5月13日（日）松丘保養園・東北新生園・登米市迫（はさま）公民館

主催　ハンセン病市民学会
後援　青森県 青森市 他（当日全掲示）

ハンセン病問題の前で、一度でも立ち止まってみたあなた、
少しでも考えてみようと思ったあなた、
そんなあなたであれば、どなたでも参加は自由です。
ハンセン病問題には、まだまだ大きな課題があります。
私たちは今、光を見失ったかのような大きな時代のうねりの中で、
どういう社会に生きたいのか、どういう社会を願うのか、
そして私たち自身がどんな生き方を選びたいのか、
真剣に考えなくてはならない曲がり角に立っています。
ハンセン病問題は、そんな私たちの固い扉を開いていくための光であり、
一人一人の考える力、行動する力が試されている問題でもあります。
交流集会は、そんな一人一人が考える場であり、そんなみんなが集う場です。
ぜひご参加ください。

会員以外のみなさんのご参加も歓迎いたします。

● 参加費　1日参加1000円・2日参加1500円（宮城会場のみの参加（資料代）500円）
● 高校生以下は入場無料　● 5月12日レセプション（前売のみ）4000円
● 弁当 必要な方は別紙「参加申込書」にて必ずご予約ください。（当日受付はありません）

【参加申込方法】申込先 トップツアー㈱青森支店／申込締切 3月30日（金）厳守
参加、宿泊、弁当などの予約は全て、別紙「宿泊・交通・オプショナル等のご案内」の内容で必ずトップツアー㈱青森支店にお申込ください。（お申込時の個人情報は、目的外には使用致しません。）

● 問い合わせ先：開催地実行委員会 Tel 090-9144-0856（平日午後1時～午後6時）

第８回ハンセン病市民学会総会・交流集会 in 青森・宮城

全体テーマ　ハンセン病問題から“いのち”の意味を考える

●　５月１２日（土）　会場　青森市民ホール

１．開　　会（13：00 ～ 13：30）

主催者挨拶　神美知宏（ハンセン病市民学会共同代表）

開会挨拶　石川勝夫（青森・宮城集会実行委員会共同代表）

来賓挨拶　三村申吾（青森県知事）

鹿内　博（青森市長）

津島雄二（前ハンセン病対策議員懇談会会長）

２．総　　会（13：40 ～ 14：00）　2011 年度活動・決算報告　新共同代表紹介　2012 年度活動方針・予算案

３．交流集会（14:20 ～ 18：30）＊全体会

第１部　「語れない言葉と向き合うために～東日本震災とハンセン病と～」（14：20～ 15 : 50 ）

コーディネーター　遠藤隆久（熊本学園大学教員）

パネリスト　姜　信子（作家）

宮地尚子（一橋大学大学院教員）

第２部　「療養所でいのちの意味を考える」（16 : 00～ 17：30 ）

コーディネーター　原田恵子（福祉運動・みどりの風）

パネリスト　青木美憲（邑久光明園副園長）

奥田　均（近畿大学人権問題研究所教員）

叶　順次（松丘保養園入所者自治会厚生部担当）

谷岡美穂（医療ソーシャルワーカー, 市民学会青年・学生部会幹事）

特別企画「福西園長と語る～療養所の将来構想」（17 : 40～ 18：30 ）

福西征子（松丘保養園園長）

神美知宏（全療協会長）

聞き手　徳田靖之（ハンセン病国賠訴訟西日本弁護団）

４．全原協・全療協・弁護団・ハンセン病市民学会 主催
国賠訴訟勝訴１１周年 レセプション（18 : 45 ～ 21 : 00 ）　会場　青森グランドホテル

●　５月１３日（日）　第１会場　松丘保養園（青森市）

１．分科会（9 : 30 ～12 : 00 ）

【分科会 A】「今、菊池事件を問い直す」　　■ 会場　典礼会館（県道 247 保養園入口から西へ 150m）

コーディネーター　国宗直子（ハンセン病国賠訴訟西日本弁護団）

パネリスト　志村　康（菊池恵楓園入所者自治会副会長）

平井佐和子（西南学院大学教員）

本田清悟（熊本日日新聞記者）

【分科会 B】「ドクターサーブ問題ならびに検証作業と啓発」 ■ 会場 コミュニティーホール（本館１階）

～特に療養所のない地域での検証作業から見えてくる啓発活動のあり方を意識して～

コーディネーター　神谷誠人（ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会事務局長）

パネリスト　桂田博祥（松丘保養園北海道民会会長、元北海道ハンセン病問題を検証する会議委員）

藤本　明（札幌弁護士会、元北海道ハンセン病問題を検証する会議委員）

和泉眞藏（アイルランガ大学客員教員）

宮崎信恵（ドキュメンタリー映画「風の舞」監督）

【分科会 C】「地域での共生を考える～松丘保養園の将来構想」 ■ 会場　文化センター

コーディネーター　徳田靖之（ハンセン病訴訟西日本弁護団）

パネリスト　石川勝夫（松丘保養園入所者自治会長）

福西征子（松丘保養園園長）

田中志子（青森大学・青森県社会福祉士会）

葛西　浩（青森県健康福祉部保健衛生課長）

福井正樹（青森市健康福祉部長）

【分科会 D】「ハンセン病問題入門」（青森実行委員会企画） ■ 会場　松丘会館

映像と語り「ハンセン病と出会って～松丘保養園のこれまでとこれから～」

コーディネーター　山本晋平（ハンセン病国賠訴訟東日本弁護団）

参加者　藤崎陸安（全療協事務局長、元松丘保養園入所者自治会長）

寺田富二子（弘前医療福祉大学短期大学部、青森県社会福祉士会）

小田桐道広（松丘保養園退職者会、松丘保養園の将来構想をすすめる会）

船橋かおり（弘前医療福祉大学保健学部看護学科 3 年生）

２．昼食（12：00 ～ 13：00）

３．アイヌ民族との交流企画（13 : 00 ～14: 15 ） ■ 会場　松丘会館

差別の連鎖を絶つという基本課題のもと、アイヌ民族の歴史と現状を学び、アイヌ民族伝統舞踏を通して交流する

お話　本田優子（札幌大学副学長）　聞き手　訓覇　浩（ハンセン病市民学会共同代表）

舞踊披露　札幌大学ウレシパクラブ

◇ 部会（13 : 00 ～15: 00）

○ 青年・学生部会（文化センター）　○ 家族部会（コミュニティーホール）

○ 教育部会（面会人宿泊所大広間）　○ 宗教部会（14:30～楓林寺）　○ 図書・資料部会（未定）

◇ 松丘保養園：園内フィールド・ワーク（13 : 00 ～15: 00）＊随時

●　５月１３日（日）　第２会場　登米市迫（はさま）公民館・東北新生園（宮城県登米（とめ）市）

１．分科会（10 : 00 ～12 : 30 ） ■ 会場　登米市迫（はさま）公民館

【分科会 E】第１部「ハンセン病問題を理解するために」（10 : 00 ～11 : 00 ）

第２部 「東北新生園の将来構想を考える」（11 : 00 ～12 : 30 ）

コーディネーター　内藤雅義（ハンセン病国賠訴訟東日本弁護団）

パネリスト　神美知宏（全療協会長）

久保瑛二（東北新生園入所者自治会会長）

大木三郎（東北新生園退所者）

井上雅雄（ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山）

◇ 東北新生園：園内フィールド・ワーク（13 : 30 ～調整中）＊園内見学と入所者との交流

●会場へのアクセス（概略位置図＋送迎バス等の概要ご案内）

松丘保養園（5 月 13 日）

東北新生園（5 月 13 日）

青森市民ホール・青森グランドホテル（5 月 12 日）

登米市迫（はさま）公民館（5 月 13 日）

以下の送迎バス等は有料事前予約制です。別紙「宿泊・交通・オプショナル等のご案内」をご覧ください。

【5 月 11 日】●午後 4 本、青森空港から旅行社設定のホテルまで送迎バスが出ます。（事前予約制）

【5 月 12 日】●午前 2 本、青森空港から青森市民ホールまで送迎バスが出ます。（事前予約制）
●レセプション終了後、青森駅（21:17）から JR で盛岡に移動し宿泊（ホテル）、13 日は登米市分科会会場、東北新生園を回って、くりこま高原駅（15:30）まで送るバスが出ます。（事前予約制）

【5 月 13 日】●青森駅前（8:30=1 本のみ）から松丘保養園まで送迎バスが出ます。（事前予約制）
●青森駅（6:24）から JR でくりこま高原駅に移動し、登米市分科会会場、東北新生園を回って、くりこま高原駅（15:30）まで送るバスが出ます。（事前予約制）
●くりこま高原駅(9:30)から登米市分科会会場、東北新生園を回って、くりこま高原駅(15:30)まで送るバスが出ます。（事前予約制）

松丘保養園	青森県青森市石江平山１９	Tel 017-788-0145
東北新生園	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢１	Tel 0228-38-2121
青森市民ホール	青森市柳川１丁目２−１４	Tel 017-722-3770
青森グランドホテル	青森市新町１丁目１−２３	Tel 017-723-1011
登米市迫公民館	登米市迫町佐沼字中江二丁目６番地１	Tel 0220-22-7324